

1. 学校の教育目標

「わが学園は教育を通して『努力心』『誠実心』『独立心』を養い、平和社会の建設に貢献する人材を育成することを使命とする」この本学園の建学の精神のもと、「日本で、また母国で正々堂々と働くことのできる人材、社会にとって有用な人材を育成する」ことを教育目標として掲げ、その実現に努力している。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

- ・就職実績・進学実績の向上及び進路先で活躍できる人材の育成
- ・就職率（内定率）75%の達成（専門課程）
- ・就職後の定着率の安定（保育士養成科）
- ・アクティブ・ラーニングの実践
- ・ユニットベース（当学園学生管理システム）の運用による学生状況把握と指導への活用

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標

委員の評価

A

評価項目

- ・学校の理念、目的、育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）
- ・学校における職業教育の特色は何か
- ・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか
- ・学校の理念、目的、育成人材像は学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか

①課題

社会の変化、企業のニーズの変化に対応したスキル、マインドを有する人材を輩出できるよう、柔軟に変化していく姿勢を保つ

②今後の改善方策

カリキュラム、シラバスの見直し
実践力を重視した授業展開

③特記事項

学生が身に付けるべきスキルが学科によって確立されており、良好な就職実績に結びついている

(2) 学校運営

委員の評価

A

評価項目

- ・目的に沿った運営方針が策定されているか
- ・運営方針に沿った事業計画が策定されている
- ・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか
- ・人事、給与に関する規程等は整備されているか
- ・教務、財務等の組織整備などの意思決定システムは整備されているか
- ・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか
- ・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか
- ・情報システム化等による業務の効率化が図られているか

①課題

ユニットベース（当学園の学生管理システム）による教育カルテの活用
自己点検評価の情報公開

②今後の改善方策

ユニットベースの活用による業務の効率化
自己点検評価の情報公開の実施

③特記事項

運営方針は明確に伝えられ、その実現のための動きを取ることができている

(3) 教育活動

委員の評価

A

評価項目

- ・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか
- ・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているのか
- ・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか
- ・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか
- ・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか
- ・関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか
- ・授業評価の実施・評価体制はあるか
- ・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか
- ・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか
- ・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか
- ・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を 確保しているか
- ・関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務を含む）を確保するなどマネジメントが行われているか
- ・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取り組みが行われているか
- ・職員の能力開発のための研修等が行われているか

①課題

企業連携の強化
外部研修・講座への積極的な参加
関連業界等の学会・協議会及び関連団体からの情報収集

②今後の改善方策

当学園キャリアセンターを介した企業連携の質・量の向上
就職に直結する企業連携スタイルの確立
外部研修への積極的な参加が可能な環境整備

③特記事項

今年度、当校における企業による就職セミナーや企業説明会、面接会の実施など、就職に直結する連携の形を作ることができた
卒業制作発表会に審査員として企業様に参加いただくなどして、当校の取り組みを企業様に直に見ていただくことができた
学園研修による内部研修は定例化されており、時宜にかなった専門知識の習得に寄与している

| | | |
|--|-------|---|
| (4) 学修成果 | 委員の評価 | B |
| 評価項目 | | |
| ・就職率の向上が図られているか | | |
| ・資格取得率の向上が図られているか | | |
| ・退学率の低減が図られているか | | |
| ・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか | | |
| ・卒業生のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか | | |

①課題

卒業後の社会的な活躍の評価の基となるデータの不足
 卒業前の就職・就労ビザ取得・資格取得のための教科の成績不振による退学が起こることがある

②今後の改善方策

卒業後の学生の追跡調査
 上記追跡調査をベースに、その時々で求められるスキルやマインドを把握し、カリキュラムへ落とし込む
 専門課程を修了し、専門スキルを習得してからの就労の方が、後のキャリアアップのためにも良いことを学生に伝える
 実践力・学力向上のサポート体制の充実

③特記事項

就職実績、資格取得については順調に数字が伸びている
 特に専門課程就職率は80%以上の学生（留学生）が就職内定している。保育士養成科は就職希望者の100%が就職内定している
 上記の通り、卒業後の活躍の追跡が更なる就職実績の向上につながるカギと捉えている

| | | |
|---|-------|---|
| (5) 学生支援 | 委員の評価 | A |
| 評価項目 | | |
| ・進路・就職に関する支援体制は整備されているか | | |
| ・学生相談に関する体制は整備されているか | | |
| ・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか | | |
| ・学生の健康管理を担う組織体制はあるか | | |
| ・課外活動に対する支援体制は整備されているか | | |
| ・学生の生活環境への支援は行われているか | | |
| ・保護者と適切に連携しているか | | |
| ・卒業生への支援体制はあるか | | |
| ・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか | | |
| ・高校・高等専修学校との連携によるキャリア教育・職業教育の取り組みが行われているか | | |

①課題

社会人のニーズを踏まえた教育環境は保育士養成科のみとなっており、整備の余地がある
 進路・就職支援について、担任の力量への依存度が強く、「組織的」な支援の強化が望まれる
 学校奨学金制度を含め、学生への経済的支援に限界がある

②今後の改善方策

専門課程、日本語研究科に「日本語教員養成コース」を開設予定であり、社会人のニーズに応えるものとなり得る
 岩谷学園卒業生組織（校友会）による奨学金制度の充実

③特記事項

担任として、またチームとして学生の抱える問題に対処する体制が構築されており、退学者の数を抑えることができている
留学生の進級・卒業率が高く、進路実現も良好な状態と言える
岩谷学園卒業生組織（校友会）からの奨学金制度がスタートしたことは大きな前進と言える

(6) 教育環境

委員の評価

B

評価項目

- ・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか
- ・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか
- ・防災に対する体制は整備されているか

①課題

3号館に関しては建物が老朽化しており、快適な環境とは言い難い（但し、学生用PCなど教育備品は充実している）
インターンシップの拡大は、就職実績向上のためにも力を入れられる分野である
実習前の実践力育成及び実践力を高める実習先の拡充（保育士養成科）

②今後の改善方策

キャリアセンターと連携したインターンシップ先の拡大

③特記事項

3号館1階ロビーを改装し、一部ではあるが快適を学生に提供できるようになった。1号館、4号館は改装が済み良好な状態である
防災備蓄品は毎年購入と配布をし、管理ができています。避難訓練も毎年実施しており、学生の防災意識を高めている
実習施設に関しては、とりわけ児童福祉施設の拡充に力を入れている（保育士養成科）

(7) 学生の受け入れ募集

委員の評価

A

評価項目

- ・学生募集活動は、適正に行われているか
- ・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか
- ・学納金は妥当なものとなっているか

①課題

募集活動において、当校の取り組みをより十分に伝えていく工夫が必要

②今後の改善方策

日本人対象学科（保育士養成科）の広報方法の工夫

③特記事項

留学生対象学科については、募集が適性に行われ、目的意識を持った学生を選抜できるようになっている
母国での現地入試（日本語科）や広域現地入試（専門課程）を行い、より広い地域からの選抜が可能になっている
オープンキャンパスを年に20回程度実施したり、ブログ等の広報活動に力を入れている（保育士養成科）
社会人の見学受入れに関しても、他校の倍以上の機会を設け入学生の選択のための情報提供に努めている（保育士養成科）

| (8) 財務 | 委員の評価 | A |
|---|-------|---|
| 評価項目 | | |
| ・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか | | |
| ・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか | | |
| ・財務について会計監査が適正に行われているか | | |
| ・財務情報公開の体制整備はできているか | | |
| ①課題 | | |
| 現在留学生の募集は安定しているが、社会情勢等の変化に対応できるよう準備が必要 他の保育士養成校より安価な設定にしているため、収入拡大のために定員の確保が課題 | | |
| ②今後の改善方策 | | |
| 特定の国からの留学生に偏らないよう幅広い国・地域からの学生募集を検討・実施する | | |
| ③特記事項 | | |
| 特になし | | |

| (9) 法令等の遵守 | 委員の評価 | A |
|--|-------|---|
| 評価項目 | | |
| ・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか | | |
| ・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか | | |
| ・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか | | |
| ・自己評価結果を公開しているか | | |
| ①課題 | | |
| 自己点検評価を実施しているが、その公表が課題である 個人情報に関する法令理解の質を組織全体として高めていく | | |
| ②今後の改善方策 | | |
| 自己点検評価の公開範囲、方法についてより適切化を検討・実施する | | |
| ③特記事項 | | |
| 当学園の全体研修において個人情報や肖像権に関する研修を実施している | | |

| (10) 社会貢献・地域貢献 | 委員の評価 | B |
|--|-------|---|
| 評価項目 | | |
| ・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか | | |
| ・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか | | |
| ・地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか | | |

①課題

学生のボランティアへの意識向上
 学生のボランティア活動とアルバイトとの時間的バッティング

②今後の改善方策

ボランティアの意義の説明や、地域清掃ボランティアなど行いやすいことから実施する
 地域と留学生の交流の場を設けるなど、地域の方が参加できるようなイベントを計画する

③特記事項

保育士養成科については公共職業訓練の受託を行っている

(11) 国際交流

委員の評価

A

評価項目

- ・留学生の受け入れ・派遣について戦略を持って行っているか
- ・留学生の受け入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか
- ・留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか
- ・学習成果が国内外で評価される取組を行っているか

①課題

学習成果が評価される取り組みの充実化

②今後の改善方策

スピーチコンテストや成果発表会などに外部企業様においていただき、取り組みや成果を知っていただく機会を増やす

③特記事項

H29年度、専門課程では卒業制作発表会を外部企業様にご覧いただき評価をいただいた

※ 各評価項目における評価点（「適切：4」、「ほぼ適切：3」、「やや不適切：2」、「不適切：1」）

その平均値（小数第二位を四捨五入し、小数第一位まで表示）を以下の基準により表示した

| 評価 | 基準 |
|----|-----------|
| A | 4.0 ~ 3.6 |
| B | 3.5 ~ 3.1 |
| C | 3.0 ~ 2.6 |
| D | 2.5以下 |

評価者：岩谷学園テクビジネス横浜保育専門学校教職員

（評価期間：平成29年4月1日～平成30年3月31日）